

# 広報ふじ

昭和39年3月1日発行

定価 1部 2円

No. 109

## 市勢の動き

(99. 2. 1現在)

面積	30.55平方町
人口総数	51,468人
男	26,221人
女	25,247人
世帯数	11,147世帯



## 工業都市えと伸展

### 市制10周年を迎えた富士市 近く記念式典行事などきまる

富士市は、この3月31日をもって市制施行10周年を迎えます。市ではこの記念すべき10周年を5万1千市民と共によるこびをわかち合うべく、いま記念式典や各種行事をいろいろと検討しております。

東駿河湾臨海工業地域として最近いちじるしい発展をみせている富士市は、また岳南工業都市および甲信越の表玄関口としても知られ東海道線と国鉄身延線を有する富士駅には現在、1日約9万人の人たちが降り降りし各種産業、交通の要衝となつています。

合併当初の昭和29年9月は、人口4万1千人、世帯数7,900世帯であつたのが、10年後の今日では人口5万1千人、世帯数1万1千世帯となつており、この10年間、人口で約1万人、世帯数で約9,700世帯という増加を示しています。

また予算規模をみますと、昭和29年9月合併当初の一般会計予算総額は、2億6千万円足らずであつたのに対し、10年後の昭和38年度の一般会計予算総額は、大体のところ9億6千万円前後が見込まれ、その差だけでも実に4倍弱の膨大な予算数字をみせ全うすばらしい伸びを示しています。それだけに本市は、ここ数年来より産業構造も大きく変わり、かつての紙、パルプ等の軽工業から一躍、重化学工業化へと塗り替られ市内の製造工場は、合併当初の170に比べ今日では約250工場を数え、この製造工場の生産額だけでも年間500億円を上回る実績をあげています。このようにして10年後の今日の富士市は青年都市としてまた工業都市としておどろくほどの飛躍をみせ、更には近く完成予定の田子の浦港を始め去る2月19日工事に着手した富士駅周辺の都市改造事業などの完成によつて今後ますます伸展し名実共に岳南工業都市の門戸として富士市はさらに前進を続けています。(写真は自衛隊ヘリコプターより市内中心街を写す)

とじ込んで保存して下さい